

科目名	FBL-X：ソーシャルビジネスプランニング1
担当	内田 浩史
開講区分	9月27日（金）、30日（月）：3,4限
授業のテーマ	SDGs（持続可能な開発目標）が示すように、現代社会では深刻な社会課題が様々な形で発生し、その解決が求められています。そうした課題を解決する事業はソーシャルビジネス（社会的事業）と呼ばれます。ソーシャルビジネスは長い間非営利組織（NPO等）や行政機関が中心となって提供してきましたが、最近では営利企業もその提供を行うようになってきました。深刻な社会課題を解決できる有効な社会的事業を生み出すことは容易ではありませんが、そのための革新的・創造的なアプローチとして、デザイン思考を用いるアプローチが注目されています。この授業は、デザイン思考を用いてソーシャルビジネスの事業計画を設計し、実際に事業化して社会へ実装するまでを構想する、プロジェクト型授業（PBL）です。講義形式でゲストも交えながら社会課題や社会的事業、デザイン思考について学びつつ、学生同士のチームでプロジェクトを進め、自分たちのアイデアを形にして最終発表を行います。
授業の到達目標	講義とデザイン思考を中心とするプロジェクトを通じ、非営利組織・行政が提供する社会的事業やその具体的なサービスについて学び、自分たちの事業をデザインして事業計画を立案できるようになることを目指します。またその中で、社会的起業家（ソーシャル・アントレプレナー）に必要な知識とスキル、革新的で前向きな思考法（マインドセット）を身に付け、社会に対して価値を生み出すことのできる潜在能力を涵養することを目指します。こうした能力は、非営利組織や行政に限らず、大企業や学界など社会の様々な分野で求められています。
授業の概要と計画	第1回：イントロダクション（社会課題、社会的事業、ソーシャル・サービス、社会的起業家に関する講義） 第2-7回：デザイン思考に関する講義とワーク 第8回：チームプロジェクト最終発表会 ・受講生振り返り 大学外部の方々や組織と連携して行う授業であること、各チームのプロジェクトの進行状況に応じて内容を柔軟に組み替える必要があることから、各回の内容は大幅に変わる可能性があります。授業は対面で、教室・学外のフィールドで行いますが、必要に応じてオンライン講義を加えることがあります。この講義はV.Schoolの砂川洋輝客員准教授とともに担当します。
成績評価方法	(1)各回のグループワークへの参加・貢献度合い（出欠状況を含む） (2)最終レポート（統計分析の課題）に基づき評価を行います。 一定の能力を身に着けたかどうかという基準から合否のみを判断して認定します。
成績評価基準	Pythonの基礎を身に着けたかどうか、自ら簡単なプログラミングを行い、スクレイピングや統計分析を行うための基礎が身についたかどうか、に基づいて評価します。

履修上の注意（関連科目情報）	<ul style="list-style-type: none"> ・この授業は夏季休業期間中に集中講義として実施します。2024年9月後半に、8時限の授業を2～3日に分けて実施します。 ・事前の履修申込が必要です。定員は50名程度までとし、超える場合は選抜を行う予定です。 ・登録・選抜は前期授業期間中に行います。 ・学部生で単位認定を希望する場合は、事前の履修申込の際に「単位認定希望（V.School生）」と記入してください。また、V.Schoolの受講認定のみを希望する場合は、「単位不要（V.School受講認定のみ希望）」と記入してください。大学院生の場合は、「大学院生（V.School生）」と記入してください。なお、受講が認められた場合、V.SchoolHPからの受講登録も行ってください。 ・以上の日程の詳細については決定次第経営学研究科ホームページで告知します。 ・演習中心の集中講義であるため、全ての回への出席が必須です。 ・頻繁にBEEF+を確認してください。 ・各自のPCにPythonをインストールして演習を行いますので、PCを必ず持参してください。 <p>【関連科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計的方法論研究、統計的方法論特殊研究で学ぶ内容を自らPythonで分析するための基礎を学びます。 ・演習・修士論文執筆で統計的手法を用いる場合にも役立ちます。
事前・事後学修	<p>事前にPythonやスクレイピング、統計的手法による分析について、デスクトップリサーチ等をおいてください。授業後は自分に合ったPythonの入門書等で復習を行い、修得した内容を継続して身に着けるようにするとよいでしょう。本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。</p>
オフィスアワー・連絡先	<p>講義前後に随時受け付けます。またメール等による問い合わせも受け付けます。連絡方法は、開講時にお知らせします。</p>
学生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業中に行う集中講義なので注意してください。 ・すべての回に出席できる場合のみ履修申し込みしてください。
今年度の工夫	<p>今年度から開講します。</p>
教科書	<p>講義スライドを用います。</p>
参考書・参考資料等	<p>Pythonの入門書は数多く出版されています。自分に合ったものを購入するとよいでしょう。</p>
キーワード	<p>データサイエンス データ分析 経営データ Python スクレイピング パソコン 社会人</p>